

防犯アプリ「歩いてミイマイ」を活用した 地域連携型防犯教育プロジェクトの 実践的活動事例



キーワード

防犯教育, 防犯アプリ「歩いてミイマイ」, 地域連携, 防犯SDGs

〇取り組んだきっかけ

第3次学校安全の推進に関する計画では、「学校における安全に関する教育の充実」が推進方策の1つとして示されました。地域の安全を守るためには学校のみならず、地域と連携した取り組みが不可欠です。本事業では、小学校と協働した地域連携型の防犯教育プロジェクトを立ち上げ1年間をかけて実践活動を行うこととしました。

〇活動の目的

「私たちのまちをみんなで協力して安全な街にしていこう!」をスローガンに地域と連携した防犯活動を通して登下校コースの危険箇所、安全箇所を点検し、自ら安全に行動できる能力を育むことを目的に活動しました。防犯活動を通じてSDGsの目標に貢献することをねらいとしています。

〇具体的な内容

1年間の実践活動を以下の表に示しました。導入授業としてe-learning教材を活用した事前学習にはじまり、大人のフィールドワーク、その後は、フィールドワーク事前学習を行い、児童は歩いてミイマイを使って2回のフィールドワークを実施しました。

1	2.15	事前学習	プロジェクト説明 防犯についての学習 グループワーク(e-learning)
2	4.27	大人フィールドワーク	下校コースに分かれたフィールドワーク 発表・意見交換
3	6.6	フィールドワーク事前学習①	フィールドワークのポイント 危険な場所・安全な場所
4	6.15	フィールドワーク事前学習②	歩いてミイマイの使い方 学校の中の危険・安全を探そう!
5	6.29	フィールドワーク(1回目)	下校コースに分かれたフィールドワーク フィールドワーク代表グループ発表
6	7.4	フィールドワーク資料整理	安全・危険の整理
7	10.18	フィールドワーク(2回目)	1回目をふまえたフィールドワーク
8	10.25	フィールドワーク資料整理	地図づくり
9	11.1	フィールドワーク資料整理	地図づくり・発表準備
10	12.6	動画作成	歩いてミイマイの動画作成 発表準備
11	1.31	発表会リハーサル	代表グループの発表準備
12	2.2	萩っ子セーフティキッズプロジェクト発表会	代表グループの発表
13	2.16	学校公開日/萩っ子セーフティキッズプロジェクト発表	全グループ発表

木村佐枝子
健康プロデュース学部
心身マネジメント学科
教授/地域貢献センター長



その結果を動画作成し、発表用PPをつくって地域の人に向けた発表会と参観会を活用して、児童全員が発表を行いました。大学生は小学生のグループ活動に関与し、事前学習から発表会までサポートを行いました。

本事業には、児童、先生、コミュニティスクール、PTA、スクールガードリーダー、大学生が活動し、静岡県警には主にフィールドワークにおける危険箇所の指摘、NTTドコモ東海にはタブレット端末の無償提供を受けました。香川大学からは防犯アプリ「歩いてミイマイ」の提供を受け、児童の防犯学習およびフィールドワークのコンテンツとして活用させていただきました。

これらの成果については、関連学会等で発表予定となっています。

〇期待される効果

地域の安全安心は地域全体が関心を持ち、それぞれが「住みよい街づくり」に貢献することが重要です。歩いてミイマイは、地域を見える化できるアプリであり、これらを活用した防犯活動は、危険箇所を可視化できるだけでなく、「ながら見守り」にも活用することができます。

学生たちが教育現場に入り、地域と連携した活動は、防犯意識、規範意識の向上と将来の地域防犯の担い手としての人材育成につながる事が期待されます。

*取材:NHK静岡放送局・テレビ静岡・静岡朝日テレビ
静岡新聞社・中日新聞社

*本事業は、「科学研究費助成事業」(20K14040)の助成を受けました。感謝申し上げます。

連携先

浜松市立萩丘小学校、浜松市教育委員会
静岡県警、香川大学、(株)NTTドコモ東海